

君津地域の水田の将来を担う若い生産者を育てる！

～水稲の生育中期管理研修会を開催しました～

君津農業事務所改良普及課 令和3年7月2日発

君津地域では水稲若手生産者の規模拡大が進んでいます。規模拡大に対応するためには、技術の向上と生産者間のネットワークづくりが急がれます。そこで君津農業事務所では、6月18日に袖ヶ浦市で管内4市の水稲若手生産者に向けた研修会を開催しました。

千葉県農林総合研究センターより講師を招き、研究段階であるICTを活用した生育診断技術を紹介した後、「ふさおとめ」栽培ほ場にて中干し^(※)の現地研修を行いました。参加した25名の生産者からは「生育診断技術が実用化したらぜひ使いたい。」「中干しほ場を見学でき、参考になった。」との声が聞かれました。最後に意見交換をする時間を設け、他市の生産者など、普段交流の少ない生産者同士で活発な情報交換が行われました。

農業事務所では今後も研修会を開催し、栽培技術を紹介するとともに、生産者同士のネットワークづくりを推進し、地域を担う水稲生産者を育成します。



中干しの現地研修



意見交換

※ 中干し：田面を一時的に乾かし、生育を制御する管理方法